

令和5年度 学習状況および学力向上に向けた取組

江戸川区立本一色小学校

『全国学力・学習状況調査』

1 調査日時 令和5年4月18日(火)

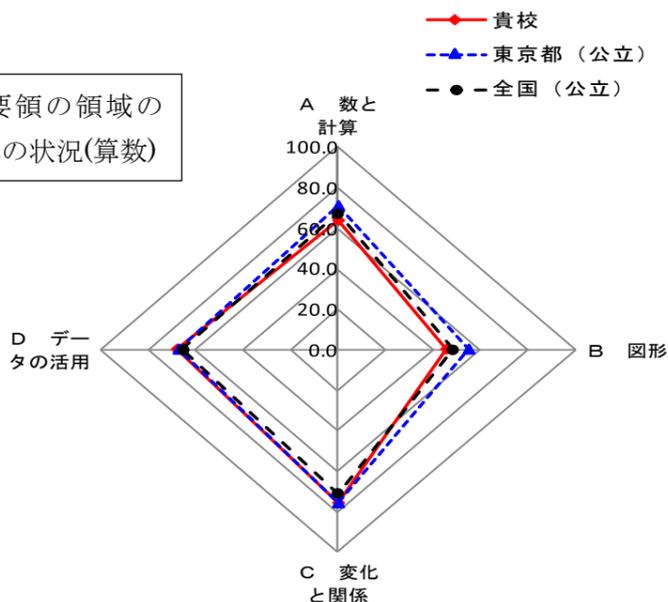
2 調査の対象学年及び対象児童数

第6学年 56名

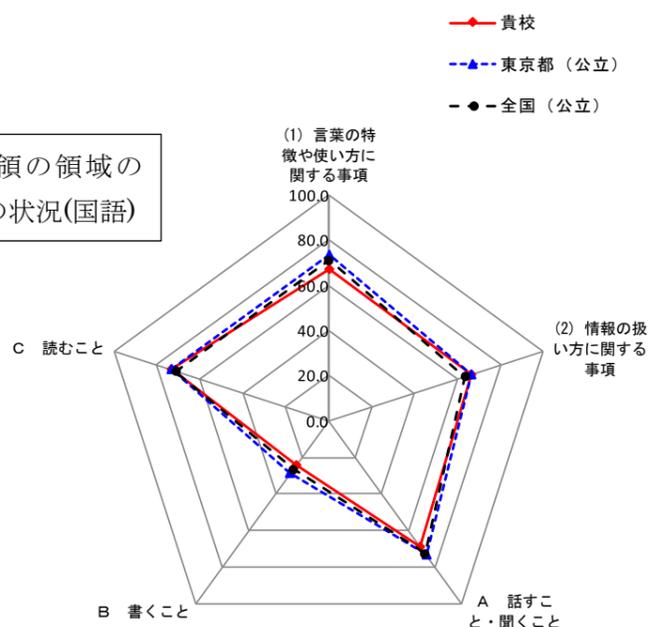
3 調査内容

- (1) 【国語】知識・技能・活用等に関する問題
- (2) 【算数】知識・技能・活用等に関する問題
- (3) 生活習慣や学習環境等に関する調査

学習指導要領の領域の平均正答率の状況(算数)



学習指導要領の領域の平均正答率の状況(国語)



成果と課題

○成果 △課題

国語

- 読むことにおいて全国・東京都の正答率の平均を上回っている。
- △ 書くこと・話すこと・聞くことにおいて、全国・東京都の正答率の平均を下回っている。

算数

- データの活用の問題では、全国・東京都の平均値を上回っている。
- △ 計算・図形・変化と関係の領域では全国・東京都の正答率の平均を下回っている。

生活習慣や学習環境

○都、全国平均を上回る主な項目

- ・自分には良いところがある。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ・読書は好きか。

△東京都、全国平均を下回る主な項目

- ・毎日、同じぐらいの時間に寝ている。
- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・家で自分で計画を立てて勉強しているか。
- ・新聞は読んでいるか。

今後の学力向上に向けて

- 国語・算数ともに東京都・全国の平均値を全体的に下回っていることが伺える。今までの学習の積み上げが乏しい児童に対しては基本に立ち返り、スモールステップで再度基礎の復習をしていく必要がある。また、中学入学に向け、各児童が自身の苦手分野を認識して学校での学習・家庭での学習を積み重ねて理解度を高めていく。特に算数では四則計算(+)、(-)、(÷)、(×)の習熟を徹底していきたい。分数や小数の四則計算につまずきが認められる児童が多いのでサポートしていく。
- 生活習慣や学習環境等に関しては、左記項目にある「新聞を読めるか」に対して肯定的な回答が東京都・全国の平均の半分以下となっている。デジタル化・映像化していく世の中ではあるが、学校としては、国語科などを用いて活字に触れさせていく機会を増やしていく。また、計画的に学習できるようになることは中学校へ進学する上でも重要である。自分に必要な学習をしたり、見通しをもって自分の力で学習を進めたりできるようにしていく。